

2月10日の「松戸市明るい会」学習決起集会でのあいさつ —要旨—

日本共産党のみわ由美です。

告示まで、あと2週間余となりましたが、一騎打ちは絶好のチャンスです。かつて石井正二さんのときには、松戸を含む東葛地域で、勝ちました。まず松戸が燃えなければ、勝利はありません。一気に遅れを取り戻そうではありませんか。松戸の日本共産党は、《横堀地区委員長、党市議団・支部後援会》全力でこの選挙、闘い抜くことを誓います。会の皆さん、共に頑張りましょう。市民の皆さん、最後までのご支援ご協力を、三輪定宣知事候補にお寄せ下さい。よろしくお願い致します。

さて今年の初めに、戦前から増え続けてきた千葉県人口が初めて約1万人も減ったことが、衝撃的に報道されました。これまで増えていた松戸市でも、おととしは約700人、去年は約3200人も、前年よりガクンと減っていますから、深刻です。原発放射能事故の影響は確かに大きいですから、ここは三輪知事誕生で頑張ってもらいたい。同時に住みにくさ、暮らしづらさ……社会や政治のありようにもしっかりと眼を向けるべきではないでしょうか。

実際、馬橋の公園の放射能測定で出会ったママから「わたし働かなくちゃいけないのに、何度お願いしても、この3人の子どもたち保育所に入れてもらえません」切実な入所相談が寄せられました。また子連れで国会交渉にいった六実のママからも、「わたし、親の介護で仕事もできない」と、放射能問題と同時に高齢者介護の問題が、強く訴えられました。

三輪定宣知事候補は、11年連続、千葉の福祉が全国最低、このことを厳しく告発されていますが、では、松戸ではどうか、市議団と調べて、驚きました。松戸は全国最低の千葉の中でも、特に深刻な都市部の問題をいっぱい抱えているのではないのでしょうか。

ほんの一例ですが、例えば松戸市内の保育所待機児童。すごく増えてます！この3年間で15倍に激増。春の入所シーズンでさえ、去年は約百人の子たちが入れず、溢れました。

また待機児童の数え方が、国も県も問題ありです！県のデータでは、去年の秋段階で松戸市は126人となっていますが、市に聞いたら、実は……というこ

とで、国・県から数えちゃダメですよと、言われている子どもたちがそれ以外になんと約500人もいることが分かりました。実質5倍の待機児童がいる。子どもを抱えながら仕事を探している求職中の方たちが約200人もいるのにカウントされない。おかしいですよ。

さらに問題なのは、残念ながら、言葉悪いけど、詰め込みですよ。市内の施設では定員の140%、最高は150%まで詰め込まれている。勿論、保育士さんたちや子どもたちは懸命に頑張っているわけですが、行政の問題として、近隣他市と比べても詰め込み率が高い、そんな深刻な実態も見えてきました。これでいい筈がありません。

そして松戸市内の特別養護老人ホームの待機者は、県下でワースト2の1666名、船橋市の2倍です。高すぎる国民健康保険料は払えない、税や保険料の滞納差押えの相談は深刻さは増すばかりです。今、日本共産党は、こうした問題の解決のため、三輪定宣知事候補を先頭に、全力で頑張ります。

私みわ由美もその先頭にたつことを申し上げて、日本共産党からの決意表明といたします。頑張りましょう。